

那須塩原市クマ等出没対応基準（緊急銃猟マニュアル）に基づく

市内にクマ等が出没したとき

・

**クマ等を出没させないための
対応マニュアル**



那須塩原市環境戦略部ネイチャーポジティブ課

市内にクマ等が出没したとき・クマ等を出没させないための対応マニュアル

1.クマ等への対策の基本的な考え方

コラム 「クマ等出没対応基準（緊急銃猟マニュアル）」とは…

2.クマ等が出没したら…

①警察への通報

②通報を受けた後の市の対応

③市民のみなさまへの情報発信

3.緊急銃猟が発令されたときは

コラム 「緊急銃猟とは」

4.クマ等を寄せ付けないための対策

コラム 「クマ等が人の日常生活圏に来ないようにするための対策」とは…

コラム クマ等目撃・出没の際の警戒区分について

コラム クマやイノシシとのトラブルを避けるためにすべきこと…

5.クマと遭遇してしまったときの対策

コラム クマと遭遇してしまったら…

6.むすびに

1. クマ等への対策の基本的な考え方

那須塩原市は、令和5年9月に「2050 Sustainable Vision 那須塩原 ～環境戦略実行宣言～」を宣言しました。

この宣言のネイチャーポジティブに関する施策における目標の一つとして「野生生物との共生社会の実現」を掲げておりますが、「野生生物」とは、クマ等も例外ではなく、これに含まれます。

本市のクマ等への対策としては…

①クマ等が出没した時の対策

クマ等が人の日常生活圏又はその付近に出没した際に、「那須塩原市クマ等出没対応基準（緊急銃猟マニュアル）」に基づき、市民の安全を確保する対応を迅速かつ的確に実施します。

※那須塩原市クマ等出没対応基準（緊急銃猟マニュアル）については次のページで説明しています。

②クマ等が人の生活圏に来ないようにするための対策

市民や関係機関等との協力のもと、生息域環境整備や誘引防止など、「クマ等が人の日常生活圏に出発しないようにする対策」を実施します。

継続的かつ長期的に市民の安全安心の確保に努めるとともに、野生生物と共生できる社会の実現を目指します。





「クマ等出沒対応基準（緊急銃猟マニュアル）」とは…

那須塩原市クマ等出沒対応基準（緊急銃猟マニュアル）



「那須塩原市クマ等出沒対応基準（緊急銃猟マニュアル）」は、クマやイノシシが出沒した時の対応を「マニュアル」としてまとめたものです。

クマ等の出沒対応は、クマ等が出沒した時間・場所・状況や、目撃からの経過時間などにより、様々なケースが考えられ、クマ等が出沒したからと言って必ずしも『緊急銃猟』が適用になるとは限りません。

そのため、那須塩原市では、クマ等出沒対応基準により、クマ等の目撃（出沒）等に関する通報を受けた後、その時間・場所・状況等を総合的に勘案し、危険度を判断したうえで、その後の市及び関係機関等の対応を、関係機関等との協議に基づき決定することとします。

第1章 クマ等出沒対応基準



- ・本市の現状やクマ等出沒対応の考え方
- ・関係機関等の役割
- ・通報の受信や関係機関等との連絡体制
- ・危険度の判断基準や警戒区域

<危険度が高く緊急銃猟適用の可能性が高い場合は緊急銃猟対応に移行する>

第2章 緊急銃猟マニュアル



- ・緊急銃猟の概要
- ・緊急銃猟における関係機関等の役割
- ・緊急銃猟実施体制、対策本部の設置
- ・関係機関等への支援、応援要請
- ・緊急銃猟計画の調整、安全を確保するための措置
- ・緊急銃猟の実施、完了後の対応
- ・事前準備、訓練



2. クマ等が出没したら… 【①警察への通報】



クマ等の出沒



まずは
110番通報

<通報の基本的な流れ>

- ①まず警察が通報を受けます。
- ②その後警察から市へ、市から各関係機関等へ連絡します。

通報時に伝えていただきたい『5つのポイント』

1 いつ(目撃した時間)



2 どこで(目撃した場所・向かった方向)



3 何が(クマか、イノシシか。頭数や大きさは)



4 何をしていたか(逃げた、留まっている、何かを食べている)



5 被害の有無(けが人はいるか、物が壊されているか)



<ご注意いただきたいこと>

一瞬の目撃でクマやイノシシを間違いなく見分けることは、とても難しいものです。

目撃情報は市民のみなさまの安全を守るために、重要なものですが、間違った情報は混乱につながります。

目撃したのは「間違いなくクマ」だったのか、それとも「クマのようなもの」だったのか、通報の際は明確にお伝えください。

2. クマ等が出没したら… 【②通報を受けた後の市の対応】

<出没した際の共通対応>

関係機関等との情報共有

市民のみなさまへの
情報提供・注意喚起

危険度判断・対応判断

<危険度に応じて行うこと>

猟友会への出動要請

現地確認・現地集合

パトロール・周辺搜索

追い払い

より危険度が高い場合

緊急銃猟による対応の検討

2. クマ等が出没したら… 【③市民のみなさまへの情報発信】

＜出没した際の共通対応＞

クマ等が出没した際は、次の方法で市民のみなさまへ情報発信を行います。

市ホームページ

マップによる位置情報公開

みるメール

るりちゃんメール(警察)

＜危険度が高い場合＞

危険度が高い場合は、左の方法に加え、状況に応じて次の方法で情報発信を行います。

広報車による注意喚起

LINE

防災無線・防災ラジオ

リンク集

- [市ホームページ\(目撃情報\)](#)
- [出没・被害情報マップ](#)
- [みるメール登録方法](#)

3. 緊急銃猟が発令されたときは

避難が必要となる場合があります！！！！

緊急銃猟が発令された場合、絶対に外に出ないでください。



発令と周知

パトカー、広報車、防災無線、みるメール等で「緊急銃猟の発令」と「避難指示」が通知されます。



屋内への退避

道路の通行が規制されます。屋外にいる方は、速やかに自宅や近くの堅牢な建物（公民館や学校など）へ避難してください。



戸締まりと待機

家の中にいる方も、必ずドアと窓の鍵を閉め、窓から離れた部屋で待機してください。被弾や、逃げ場を失ったクマが家屋に侵入するのを防ぐためです。

興味本位で様子を見に行ったり、スマートフォンで撮影しようと近づく行為は、命に関わる大変危険な行為です。安全が確認され「解除」の放送があるまで、絶対に安全な場所から動かないでください。



「緊急銃猟」とは？

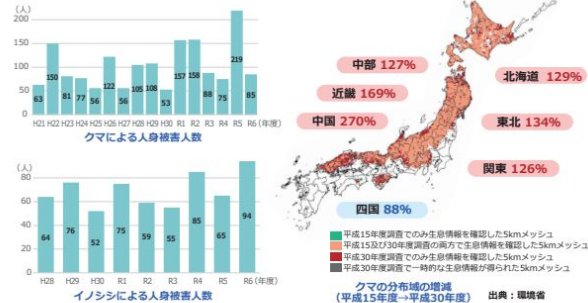
緊急銃猟制度ってなに

人の日常生活圏にクマやイノシシが出没した場合、一定の条件を満たしたときに、市町村長の判断により銃器を使用した捕獲等ができる制度です。



なぜ緊急銃猟制度が必要な？

近年、クマやイノシシの人の日常生活圏への出没が増加傾向にあり、人身被害件数・人数がクマでは令和5年度、イノシシでは令和6年度に過去最多*1を記録。死亡事故も発生しています。 *1 クマは平成18年度、イノシシは平成28年度以降



住居集合地域等での銃器を使用した鳥獣の捕獲等は現に危険が生じていて急を要する場合に実施されてきました。しかし、膠着状態にある場合等において、より予防的かつ迅速に対処することが必要になっています。

これらに対応するために、特に人身被害を生じさせるおそれの高いクマ、イノシシについて、人の日常生活圏での銃猟を可能とするものとして制度が創設されました。



なお、緊急銃猟実施時の通行禁止・制限に正当な理由なく従わない場合、罰則の対象となる場合があります。

緊急銃猟を実施するための4つの条件

- クマやイノシシが人の日常生活圏に侵入していること
※侵入するおそれ大きいことを含む。
- クマやイノシシによる人命または身体への危害を防止するため、緊急に対応が必要であること
- 銃猟以外の方法では的確かつ迅速な捕獲等が困難であること
- 住民や第三者に銃猟による危害を及ぼすおそれがないこと

緊急銃猟制度のしくみ

「緊急銃猟を実施するための4つの条件」全てを満たした場合、市町村長は、市町村職員に指示または職員以外の者へ委託*2し、対象のクマ、イノシシについて、銃器により捕獲等を行うことが可能です。

*2 職員以外の者へ委託・・・大型獣の銃器での捕獲等に関する知識と経験があり、射撃練習も定期的に行っている人材に、市町村長が委託することができます。

緊急銃猟は、人の日常生活圏(例：住居や広場、生活用道路、商業施設、農地その他の勤務地)などにおいて、安全が確保された場合に実施されます。



4. クマ等を寄せ付けないための対策

クマ等を寄せ付けないためには、市や県、警察、猟友会だけの取組では根本的な解決になりません。
市民のみなさまの地域ぐるみの協力が必要不可欠です。



「食べ物がない、隠れる場所がない」とクマに学習させることが、那須塩原市の美しい自然と、私たちの安全な暮らしを両立させる最大の鍵です。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



「クマ等が人の日常生活圏に来ないようにするための対策」とは…

見えないバリアを作る：平時の備え



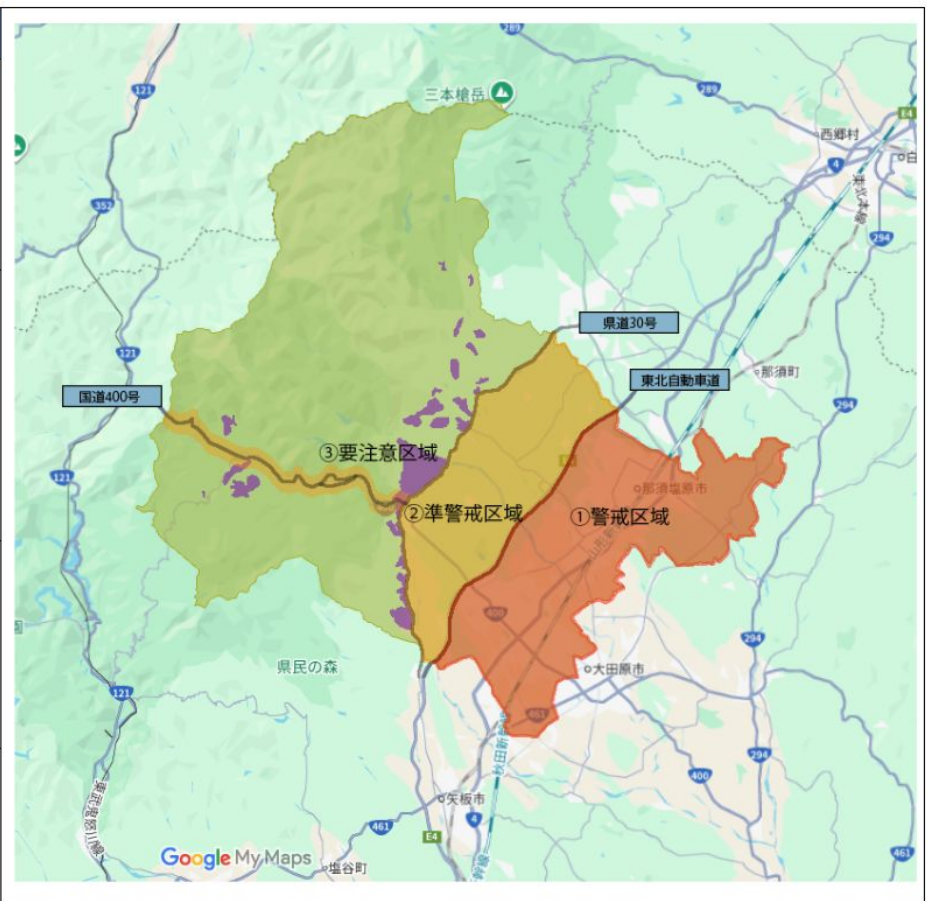
「クマ等が人の日常生活圏に来ないようにするための対策」とは…

クマは本来、臆病な動物です。悪意を持って街に来るのではなく、「身を隠せる草むら」や「食べ物(生ゴミ、放置された果実)」等があると引き寄せられてしまいます。市と市民が協力して草刈りや誘引物の除去(環境整備)を行うことが、クマと街の間に「見えないバリア」を張り、お互いの領域を守る最大の予防策となります。



クマ等目撃・出沒の際の警戒区分について

警戒区分	凡例
①警戒区域 人の日常生活圏が密集している区域 ▶東北自動車道より東側の範囲	
②準警戒区域 人の日常生活圏と緩衝地域や山野が混在している区域 ▶県道30号より東側、東北自動車道より西側の範囲 ▶県道30号より西側の国道400号の両側1キロメートルの範囲	
③要注意区域 ①、②以外の区域のうち、住居が集合している区域 ▶県道30号より西側の範囲に点在	
④その他の区域 上記以外の樹林地で、クマの健全な繁殖や生息を担保できる地域	





クマやイノシシとのトラブルを避けるためにすべきこと…

クマやイノシシとのトラブルを避けるために一番大切なことは、「遭遇しないこと」。
自分でできる安全対策として、次のようなことがあげられます。



①知る



*クマやイノシシの生態、行動などをよく知りましょう。
*地域の自然環境、野生動物に関心を持ちましょう。



②情報を得る



*市や警察が発信する出没情報を積極的に取得しましょう。



③自分の存在 を知らせる



*山間部や人気のない場所では、クマ鈴やラジオなど音の出るもので存在を知らせましょう。声でも効果的です。



④気を付ける



*出没情報のあったところにむやみに行かないようにしましょう。
*早朝・夕方は出会う可能性が高くなるので注意しましょう。
*次のような場所で、ひと気のないところでは特に注意しましょう。
・茂みで見通しの悪いところ
・森や林の中を通る通学路
・山ぎわ、山とつながっている森や林の中やその周辺
・沢などの狭いところ
・川沿い、川沿いのやぶなど



クマと遭遇してしまったら… (1/2)



①遠くにクマがいることに気が付いたとき

- *背中を向けず静かにゆっくりその場から離れましょう。
- *走って逃げるのはやめましょう。
- *写真をとるためにフラッシュを使うのもやめましょう。



②近くにクマがいることに気が付いたとき

- *クマに背を向けずに、クマを見ながら、ゆっくり落ち着いて、その場から離れましょう。
- *クマをおどろかせてしまうので大声を出さないようにしましょう。



③すぐ近くでクマに遭遇したとき

- *身を守ることを最優先にしましょう。
- *冷静に、あわてず、クマが立ち去ってからその場を離れましょう。
 - ※あわてた人の急な動作で驚いて、攻撃してくることがあります。
- *突発的におそわれたら、両腕で顔や頭をガードしたり、かがんでお腹を守ったりして、大ケガを避けましょう。



クマと遭遇してしまったら… (2/2)

④ほかにも…

*グループでいる場合は、みんなで固まりましょう。



*仰向けで死んだふりをしないようにしましょう。



*子グマには絶対に近づかないようにしましょう。

近くには必ず母グマがいます！！母グマは子グマを守るため、攻撃的な性格で危険です。



*食べ物が入ったリュックなどを置いていかないようにしましょう。



7. むすびに…

クマやイノシシによる、人への被害をなくすためには、クマやイノシシが出没したときに、市や県、警察、猟友会などが対応を行うだけでは、根本的な解決になりません。

クマやイノシシなどの野生動物も、命ある生き物ですから、人間の都合でむやみに殺してしまえば良いということはありません。

市民のみなさまと、クマやイノシシなどの野生動物が、ともに安全・安心に共存して暮らすことができる社会を作り、那須塩原市の豊かな自然をともに守っていくために、市や県、警察、猟友会などの対応を行う機関や団体のほか、市民のみなさまの地域ぐるみの協力が不可欠です。

どうか、美しい自然や野生動物とともに暮らせる共生社会を作るために、市民のみなさまのご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

